

町並み散策ばらり in 神奈川 ~長

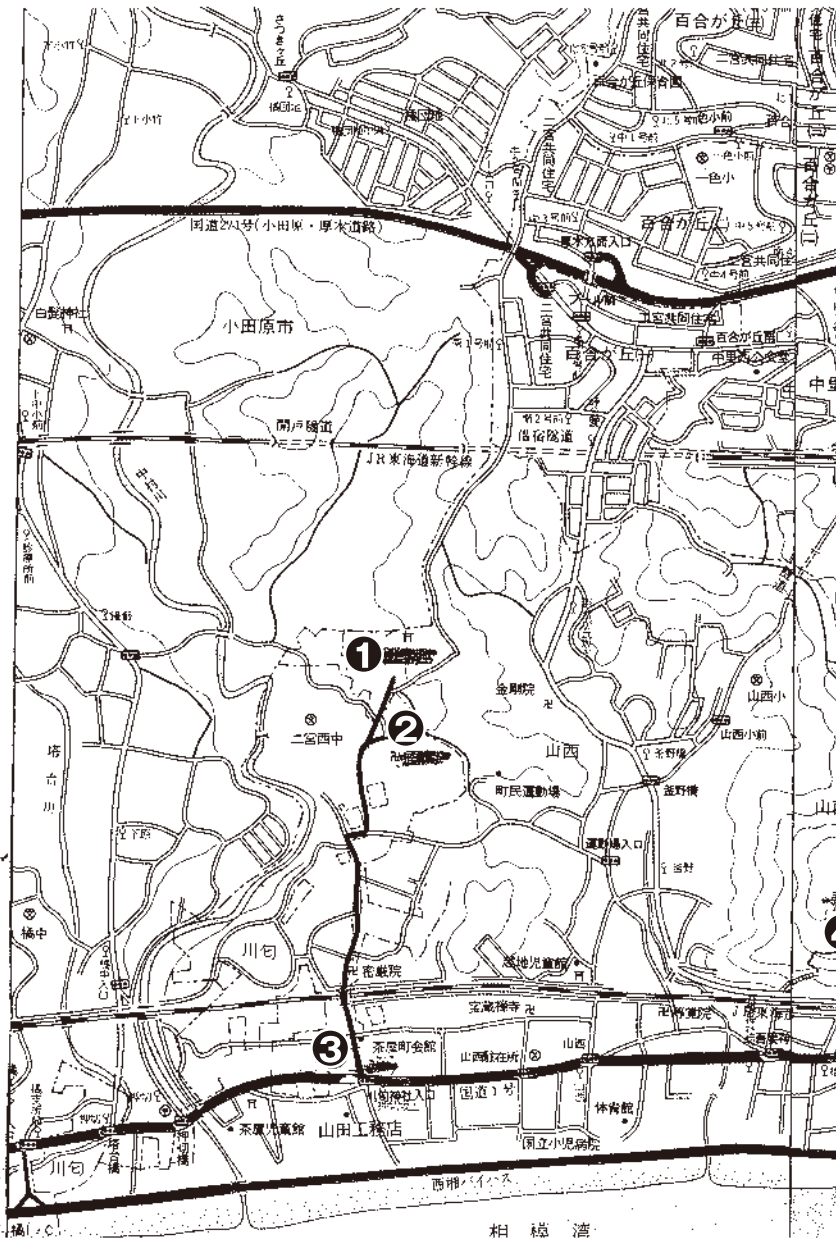


① 川句神社

(相模国二宮)

当社は相模国二宮で古くは二宮大明神と称し1642年磯長国、

国宰である阿屋葉造(あやのみやつこ)が勅命を奉じて当国鎮護の為に創建したとされる。それより古く「吾妻鏡」建久3年(1192年)源頼朝が妻、北条政子の安産を祈願した神社として神馬が奉納されている。



② 西光寺

境内に入っていくと、左手には子育て延命地蔵尊が、右手には六地藏

が並んでいる。奥には「悠響の鐘」の鐘楼がある。子育て延命地蔵尊は、今から200年ほど前、寛政9年、大津波と疫病が蔓延したため多くの子供が命を亡くした、そのため厄除を願い地蔵尊を建立したとされる。



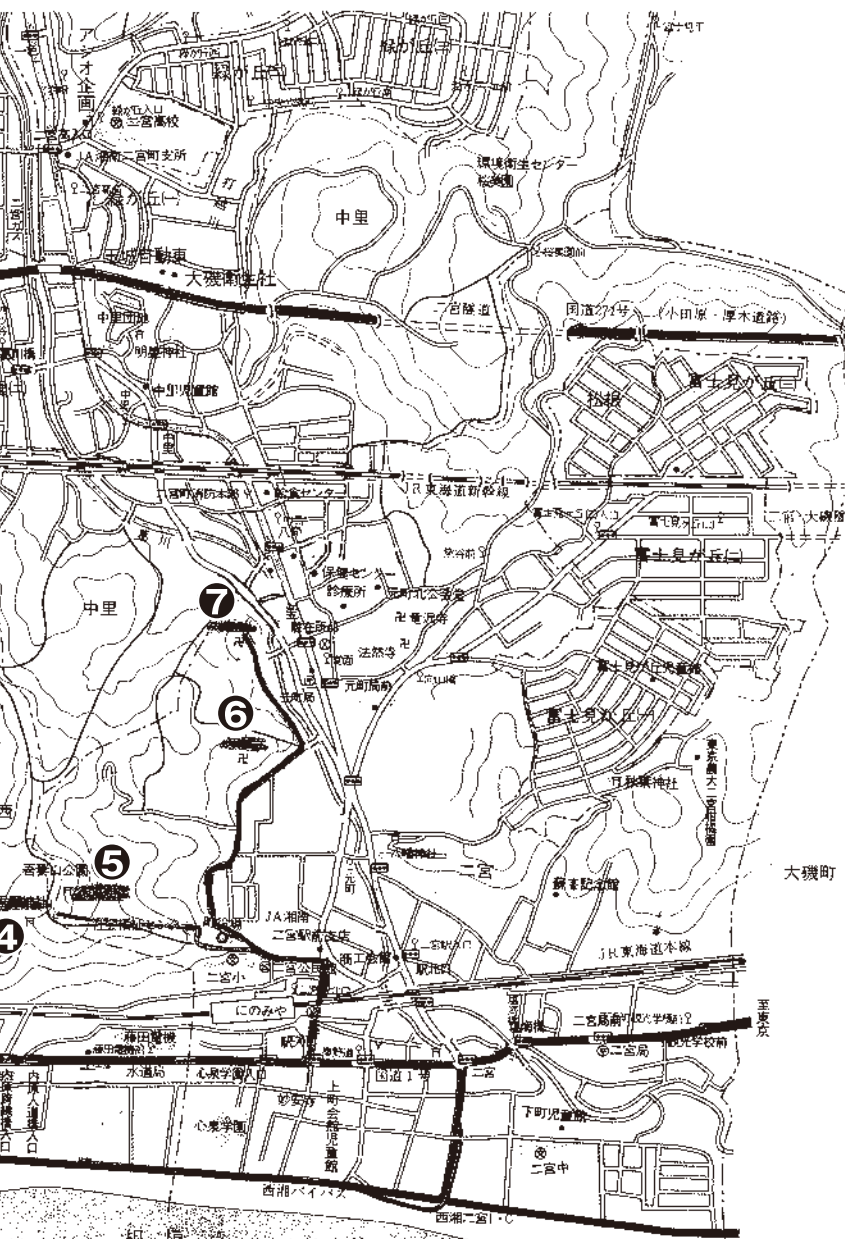
③ 茶屋薬師

茶屋町会館を過ぎていくと、左手に薬師があり、薬師如来座像が安置されている。寄木造り彫眼漆箔の座像で江戸時代の作と推定される。



④

長寿の里・二宮町歴史探訪～



大応寺

曹洞宗の寺で、開山は麟正(りんしょう)が天文7年正月に高遁斎道応(当時小田原城主)が当所内の蔵屋敷ならびに、林、田畑を寄付したという。



知足寺

葛川沿いに建ち並ぶ民家の間に続く路地を進んでいくと、浄土宗知足寺がある。正面には本堂があり、知足寺のご詠歌「日にみたびさとに流るる鐘の音は、足るを知れとの弥陀の御声」とある。また、境内に曾我兄弟の墓といわれている遺跡がある。



吾妻神社

日本武尊(やまとたけるのみこと)の東征の時、三浦半島走水から海路、上総へ渡ろうとすると、突如として暴風が起こり沈むかと思われた時、妻の弟橘媛命(おとたちばなひめのみこと)は夫の代わり海の神を鎮め、海辺に流れついた櫛を山頂に埋め祭ったとされる。



浅間神社

白木の祠(ほくら)で、祭神は木花咲耶媛(このはなさくやひめ)で土地の人には浅間さんとして親しまれ、縁結びの神様として信仰されている。